

第27回群馬県河川整備計画審査会

- **開催日時**：平成31年3月26日（火） 15：25～16：40
- **開催場所**：太田合同庁舎 別館 302会議室
- **出席委員**：石井敦、熊倉浩靖、佐藤敦彦、清水義彦、堀尾明宏、宮田裕紀枝、吉澤和具、渡辺龍介 （出席8名） 敬称略
- **欠席委員**：姉崎智子、片野光一、茶珍護 （欠席3名） 敬称略
- **事務局**：河川課 …平山課長、後藤室長、諏訪次長、關谷補佐、川端係長、岡部主幹、吉川主幹、五十嵐副主幹、高橋主任、原田技師
太田土木…奥澤係長、松本技師
- **議題**：①河川改修等の進捗状況
②近年の河川を取り巻く状況
③河床低下対策検討部会の開催報告
- **配付資料**：
 - ・ 次第
 - ・ 出席者名簿
 - ・ 席次表
 - ・ **資料1**：群馬県河川整備計画の策定状況
 - ・ **資料2**：河川整備計画河川の進捗状況
 - ・ **資料3**：河川の整備状況
 - ・ **資料4**：群馬県河川整備計画 今後の策定スケジュール（案）
 - ・ **資料5**：河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会
 - ・ **資料6**：ダム再生ビジョンの概要
 - ・ **資料7**：第4回河床低下対策検討部会 開催報告
 - ・ 平成29年 洪水記録
 - ・ ぐんまの河川

■ 議事録：

1 開会

2 あいさつ（河川課長）

3 議題

① 河川改修等の進捗状況

事務局より、**資料1**、**資料2**、**資料3**、**資料4**の内容について説明。

② 近年の河川を取り巻く状況

事務局より、「平成29年 洪水記録」、**資料5**、**資料6**の内容について説明。

③ 河床低下対策検討部会の開催報告

事務局より、**資料7**の内容について説明。

以下、審議内容

➤ 会長（清水委員）

只今の事務局の説明について、ご意見をお願いしたい。

➤ 宮田委員

資料2の谷田川の進捗状況が「完成」となっているが、桜づつみの完成のことを言っているのか。現在も谷田川右岸側で工事を行っている箇所が見受けられるが。

➤ 事務局

改修は完了しているが、堤防強化工事を行っている。

➤ 宮田委員

（谷田川に自生している希少植物の）フジバカマの移植はどのように行っているのか。

➤ 事務局

フジバカマは地下茎から出芽し繁殖するので、自生していた箇所の土をある程度の厚みで土ごと採取し、別の場所に移した後、堤防に戻している。

➤ 宮田委員

（谷田川に自生している希少植物の）チョウジソウを地域で引き取り栽培しているが、それらを戻すことは可能か。

➤ 事務局

確認して報告する。

➤ 会長（清水委員）

植物保全の方法を後で報告すること。専門家の意見は聞いているのか。

➤ 事務局

植物の専門家の指導を受けながら行っている。

➤ 石井委員

資料6について、群馬県ではダムの子備放流を行う予定はあるのか。

➤ 事務局

群馬県の管理しているダムは、洪水調節用のゲートが付いておらず、ゲート操作出来ないなのでその予定はない。

➤ 石井委員

冬場は水質の問題が出てくるが、県管理河川で環境用水を補給できるところはあるのか。

➤ 事務局

県営ダムがある河川は補給を行っているが、ダムがないところでは補給が出来ないので実施していない。

➤ 副会長（堀尾委員）

先ほど視察した調節池について、経年とともにゴミが溜まってくるので、親水公園であることも考えると定期的に清掃を行った方が良い。

➤ 事務局

意見を踏まえ、検討したい。

➤ 会長（清水委員）

この調節池では水質計測は行っているのか。

➤ 事務局

水質計測は行っていないが、今のところ水質の問題は発生していない。今後も維持管理をしっかりと行っていきたい。

➤ 副会長（堀尾委員）

池の水深が浅いと冬場は凍結するので水鳥が餌を採れなくなってしまう問題もある。

➤ 会長（清水委員）

調節池は防災効果があり、水鳥などにとって環境的にも良いので、今後はもっと活用出来ると良い。

➤ 事務局

地下水位と調節池の深さの設定は、維持管理なども考慮する必要があり、今後の課題とする。

➤ 副会長（堀尾委員）

先ほどの調節池は葦なども生えていたが、放っておくと刈るときが大変である。また、ビオトープは生物には住みやすい環境なので、生物調査などを行ってみたい。

➤ 事務局

意見を踏まえ、今後検討したい。

➤ 熊倉委員

資料6の説明の中で出てきた4つのダム名称をもう一度教えて欲しい。また、この資料の説明趣旨を教えて欲しい。

➤ 事務局

霧積ダム、道平川ダム、坂本ダム、塩沢ダムの4つである。ダムの容量は治水容量、利水容量、堆砂容量から成るが、堆砂容量は100年間の堆積を見込んで設計している。しかしながら、この堆砂容量が想定より早く、土砂で埋まってきているので、その堆砂対策を検討していくことを説明させて頂いた。

➤ 熊倉委員

このことは河川整備計画に記載するのか。

➤ 事務局

ダム建設や大規模改修は具体的に盛り込むが、堆砂対策は維持管理のため記載はしない。この資料にあるダム再生ビジョンでは堆砂対策を主眼として、ダムの嵩上げな

ども検討していく。

➤ 熊倉委員

4つのダムは全て西毛地域であるが、地質的・地形的に問題があるのか。

➤ 事務局

水資源機構管理の下久保ダムも堆砂の進行が速いと聞いているので地質的な問題があると考えられる。特に平成19年の大雨の時はかなり堆砂が進んだと聞いている。

➤ 熊倉委員

火山フロント（火山分布の海溝側を結ぶ線）の内側にこれらのダムが入っている。堆砂対策は意識した方が良い。

➤ 事務局

了解した。対策の参考としたい。

➤ 渡辺委員

群馬県で災害のニュースと言えば水害がほとんどである。県民の関心として、災害の中で水害対策を優先して欲しいというアンケート調査結果はあるのか。

➤ 事務局

こちらから主体的に聞いてはいないが、昨年西日本豪雨以降、「家の前の河川内雑木を切ってくれ」といった要望は頂くようになった。また、「水害に備えて」という県の出前講座に、今年度4件依頼を頂いており、県民の水害対策への関心は高まってきていると言える。

➤ 会長（清水委員）

今回の審査会で任期が終わる委員もいらっしゃる。最後に各委員から一言ずつお願いしたい。

➤ 副会長（堀尾委員）

群馬には山と川があるが、想定外の自然災害は起こり得る。その際、優先されるのは人命であり、それを踏まえた審査会の内容になってきていると思う。資料5の減災対策協議会の説明の中でも「逃げ遅れゼロ」の話題があったが、過疎地では年配者が逃げ遅れやすいので、今後そのあたりを考えていかなければならないと思う。

➤ 熊倉委員

これから利根川上流圏域、吾妻川圏域の河川整備計画を策定していくと思うが、県として国と市町村をどのように結びつけて、計画を策定していけるかが重要であると思う。長い間お世話になりました。

➤ 宮田委員

前回の邑楽・館林圏域河川整備計画では現地まで来てもらい感謝している。板倉町では町民全員が集会などの前に避難シミュレーションのビデオを見て水害避難訓練をしている。ただ、若い人たちまで浸透しているかは疑問である。

➤ 渡辺委員

今年度から委員を拝命した。本日の視察で、都市部では川は身近な自然であると感じた。今後も防災と自然環境の創出を両立する河川整備をお願いしたい。

➤ 吉澤委員

漁業の分野から委員をやらせて頂いた。今後も河川行政と漁協が協力して行ければ良いと思う。長い間お世話になりました。

➤ 佐藤委員

魚類担当として携わらせて頂いた。河川整備計画は治水がメインであるが、以前より魚が住みやすい河川として考慮してもらえるようになったと思う。

➤ 石井委員

水田は洪水を貯留する機能を有している。今後は、水田との連携など堤内地の情報を計画に加えていって欲しい。

➤ 清水委員

本日視察した大川は市街地河川であるため、拡幅するには時間がかかり、相当大変であると感じた。河道整備だけでは整備進捗が遅いので、他の方法も考えなければならぬ。また、川の上流では人命が失われるリスクが高いため、県であれば砂防との連携が必要である。

長い間お世話になった委員の皆様、大変お疲れ様でした。

4 あいさつ（河川課長）

2名の委員におかれましては長年に渡りご指導頂きまして大変ありがとうございました。来年度以降もお世話になる委員におかれましては引き続きよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

5 事務連絡

- 議事録の確定について

6 閉会

(以上)

署名 清水 義彦